

「門番」に新ラインナップ

新製品の防爆仕様のシートシャッターと、製品の開発者ら10日、松江市乃木福富町、小松電機産業株式会社内で



小松電機産業のシートシャッター

高速シートシャッターの生産、販売や上下水道制御、管理システムの開発、販売を行っている小松電機産業株式会社（松江市乃木福富町、小松昭夫社長）がこのほど、同社のシートシャッターの新ラインナップを発表した。

同社は、一九八〇年にシートシャッターを市場に先駆けて発売。「空間価値創造」をキャッチフレーズに、「門番」ブランドとして開発、販売を続けている。シートシャッターのシェアは業界トップを誇り、高性能と気密性などが評価され、二〇二二年に「ハッピーゲート門

番」システムで第四回ものづくり日本大賞優秀賞を受賞した。

今回、発表されたのは屋外向け仕様のシリーズと、冷蔵・冷凍庫仕様、防爆仕様、他機器連動・組み込み用の四種類。

屋外向けシリーズは、シートに中間パイプを組み入れることで、従来の屋内向け製

品に比べ、防風性や気密性をさらに上昇させた。既存の屋内向けの「Gシリーズ」に対し「Rシリーズ」として販売する。

冷蔵・冷凍庫仕様は、低温環境下でも柔軟性を保ち、シートに向こう側も視認が容易となるよう、透過性も確保した新開発のシートを採用。定期的な霜

取り動作を行うプログラムも組み込まれており、マイナス二十五度から五度まで対応できる。

防爆仕様は、世界初のエア駆動式を採用。爆発の危険の発生度合いが最も高いZONE0に対応したエア駆動・エア制御方式と、比較的危険の発生度合いが低いZONE2に対応し、センサーによる自動運転が可能なエア駆動・電気制御式の二種類がある。ガラス繊維を組み込んだ帯電防止、不燃シートを使用しており、従来の防爆仕様のシートシャッターに比

べて約20%価格を抑えた。

他機器連動・組み込み用は、エアシャワーやコンベアー、昇降機などの装置に組み込むことができるオーダーメイドの機能部品として、現場のさまざまなニーズに応える形で、受注生産される。

同社は、「出雲大社の大遷宮（本殿遷座祭の日）に合わせたのは、再出発、という気持ちを含め」、十日に発表会見。小松社長は、「対立、統合、発展を繰り返す社会を實現し、三年以内に、社全体で年間百億円の売上を目指す」と語った。